学校番号	T3017

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ａ（増単位）	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	「現代文Ａ」　（東京書籍）						
副教材等	無（逐次プリント）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・休まずに出席し、集中して授業を受けましょう。遅刻や欠席はしないようにしましょう。
・授業中は授業を受けることに集中して取り組みましょう。
・提出物については必ず提出しましょう。
・読み方を学ぶ科目です。そのためにいろいろな文章を読み込みます。
・書かれている事柄の要点を把握するためのコツを身につけましょう。
・場面の様子や変化などを適切に読み取るためのコツを身につけましょう。
・それぞれの感じ方や考え方について相互に発表等をする中で、相互の思いや考え方を尊重しながら文章を楽しむ態度を育てましょう。
・特に小説等の読解においては、登場人物の相互関係や心情や場面についての描写をとらえるコツを学び、自分の考えや思いをまとめ、相互に共有して楽しむ態度を育てましょう。
・将来にわたって読書をしたいと思うような人になってもらえたらと考えています。
・日本の文化に触れることを意識して読んでいきましょう。
・重要な語句や漢字についても身につけましょう。
・予習や復習については特に指示はしませんが、家に帰ってから今日学んだことを少し思い出すぐらいの時間は持つようにしましょう。
・定期考査前には定期考査で特に復習してほしいことについて授業中にお伝えしますので、学習計画を立てて家庭でも少し復習をする時間をとりましょう。
・特に増単位の１単位において、国語の読解力獲得のための基礎学習として、語句指導を丁寧に行いますので、少しの労力をいとわず、反復練習をしてください。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を読んで、我が国の言語文化に対する理解を深める。
読書に親しみ，国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。
漢字学習を含めた語彙力をより一層身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	文章を読む楽しさを味わい読書に親しむとともに、言語文化に対の向上を図ろうとしている。	目的に応じて、言語文化及まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	出席の状況 授業の態度 行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査　小テスト等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動（学習の進み具合によって内容が前後することがあります。）

月	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	随想	「求めるものに応えてくれる」、「最初のペンギン」において、以下を学ぶ。 ・段落ごとの要約の方法。 ・段落相互の関係（構成）の理解の方法。 ・作品の構成、の読み方。 ・作者の考えや感じ方を理解する方法。 ・生徒同士の考え方や感じ方を共有する。	○	○	○	a:授業に集中して取り組んでいる。 b: 作者の考え方や感じ方を読み取れている。 b:段落ごとの要約ができている。 b:段落相互の関係が理解できている。 c: 語句の意味や用法を的確に理解している。	観察 ワークシート 定期考査 自己評価 相互評価
6 7	小説	「アマガエル」、「旅する本」において、以下を学ぶ。 ・場面展開の的確な読み取り方。 ・作品の構成、の読み方。 ・心情の読み取り方。 ・生徒同士の考え方や感じ方を共有する。		○	○	b:心情の読み取りができている。 b:登場人物の相互の関係が読み取れている。 c: 語句の意味や用法を的確に理解している。 c: 比喩を使った象徴的な表現を理解している。	観察 ワークシート 定期考査
8 9	評論	「眼差しを交わす喜び」、「絶え間のない流れの中にある生命」において、以下を学ぶ。 ・段落ごとの要約の方法。 ・段落相互の関係（構成）の理解の方法。 ・作品の構成、の読み方。 ・作者の考えや感じ方を理解する方法。 ・生徒同士の考え方や感じ方を共有する。 ・読書に対する認識を深める。	○	○	○	a:授業に集中して取り組んでいる。 a:読書に対する認識を深めようとしている。 b: 作者の考え方や感じ方をもとに、テーマに沿って自分の考えをまとめることができている。 b:段落ごとの要約ができている。 b:段落相互の関係が理解できている。 c: 語句の意味や用法を的確に理解している。	観察 ワークシート 定期考査 自己評価 相互評価

10 11 12	随想 評論	「境目」、「モード化する社会」、「人はなぜ働くのか」において、以下を学ぶ。 ・段落ごとの要約の方法。 ・段落相互の関係（構成）の理解の方法。 ・作品の構成、の読み方。 ・作者の考えや感じ方を理解する方法。 ・生徒同士の考え方や感じ方を共有する。 ・読書に対する認識を深める。		○	○	b: 作者の考え方や感じ方をもとに、テーマに沿って自分の考えをまとめることができている。 b:段落ごとの要約ができている。 b:段落相互の関係が理解できている。 c: 語句の意味や用法を的確に理解している。	観察 ワークシート 定期考査
1 2 3	小説	夢十夜、山月記、伊豆の踊り子において、以下を学ぶ。 ・場面展開の的確な読み取り方。 ・作品の構成、の読み方。 ・心情の読み取り方。 ・生徒同士の考え方や感じ方を共有する。 ・登場人物の設定状況を理解する。 ・場面展開の把握の仕方。	○	○	○	a:自ら学ぼうとしている。 b:心情の読み取りができている。 b:登場人物の相互の関係が読み取れている。 b:さまざまな解釈があることを理解する。 b:場面展開を適切に読み取れている。 c: 語句の意味や用法を的確に理解している。	観察 ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※　原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。